

## マツダ真空管 6X5-GT

用途構造 全波整流管

特性概要 6X5-GT は全波高真空整流管であつて普通の交流式受信機や自動車ラジオ等の整流管として適当です。特徴は傍熱型カソードを持つ事ヒーター、カソード間の絶縁に特別の注意が払われている事等であります。

カソード 傍熱型(オキサイド被覆・等電位)

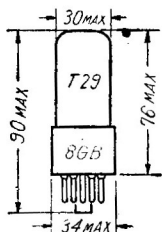
ヒーター電圧 6.3V(直流)

ヒーター電流 0.6A

バルブ T-29

ベース 8GB

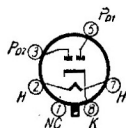
## 外形



## 電極接続

- 1 接続なし
- 2 ヒーター
- 3 プレート(2)
- 5 プレート(1)
- 7 ヒーター
- 8 カソード

## ベース接続



## 最大定格

尖頭耐逆電圧	.....	最大1250V
尖頭プレート電流(各プレート毎)	.....	最大210mA
直流出力電流	.....	最大70mA
ヒーター・カソード間電圧	.....	最大450V

## 動作例

入力側フィルター	.....	コンデンサー	.....	チョーク
交流入力電圧	.....	325V	.....	450V
入力蓄電器	.....	4 $\mu$ F	.....	4 $\mu$ F

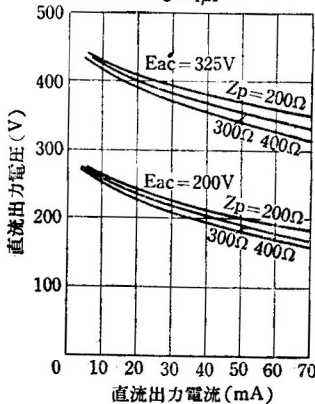
## 全実効プレート

電源インピーダンス(各プレート毎)...	150Ω	75Ω
入力チョーク.....		最小8H
直流出力電流(全負荷).....	70mA	70mA
入力側フィルターの直流出力電圧(概略値)		
1/2(全負荷電流)の時.....	395V	385V
全負荷電流の時.....	355V	375V

### 参考事項

1. ヒーター電圧は6.3Vで動作させるように注意すべきですが、蓄電池充電時には当然多少のヒーター電圧上昇はやむを得ません。しかしその際でも7.5Vを超えることはないようにすべきです。
2. 任意の位置で使用可能ですが、通風に留意し球が過熱することのないように気を付けて下さい。

**6X5-GT 整流特性曲線**  
 (全波整流回路)  
 $E_f = 6.3V (A.C)$   
 $C = 4\mu F$



6X5-GT 整流特性曲線

全波整流回路

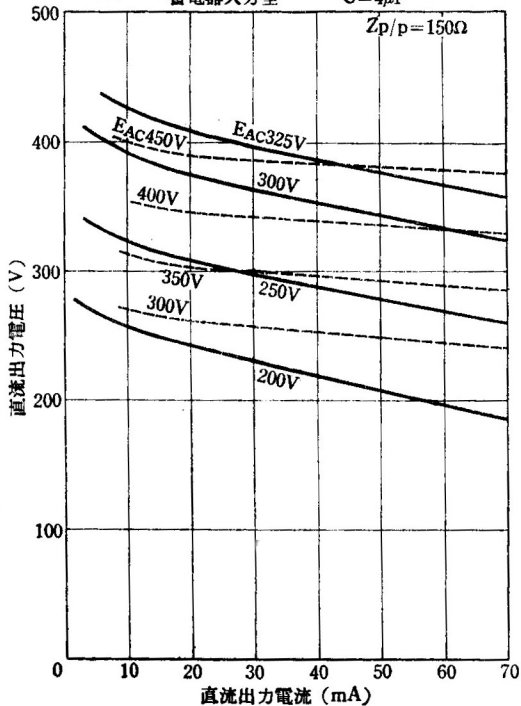
$E_f = 6.3V$

----- 塞流線入力型

$L = 8H$ (最小)

————— 蓄電器入力型

$C = 4\mu F$



6X5-GT 平均プレート特性

